

株式会社ニツカトー 2026年3月期(第3Q) 決算説明資料

1. 中長期的な戦略について
2. 2026年3月期(第3Q)業績概要
3. 2026年3月期業績予想
4. 事業トピックス

1. 中長期的な戦略について
2. 2026年3月期(第3Q)業績概要
3. 2026年3月期業績予想
4. 事業トピックス

企業
理念

セラミックスと計測システムを通じて社会に貢献しよう

ニッカトーは創造性に富んだ信頼される商品の提供を通じて科学技術と産業の発展に寄与し、
企業の成長と発展を期し、親しまれる経営で社会に貢献する

経営ビジョン
目指す姿

“Reliable Company”
時代に必要とされる企業

CONNECT30
スローガン

“まずやってみる、未来のために。”

時代が変化していく中で、必要とされる企業だけが成長するように
従業員ひとりひとりが成長し、誇りを持って働ける会社にしよう

「CONNECT30」 3つの重点戦略

製品戦略
の見直し



稼ぎ続ける力

戦略投資
の拡大



新たな投資

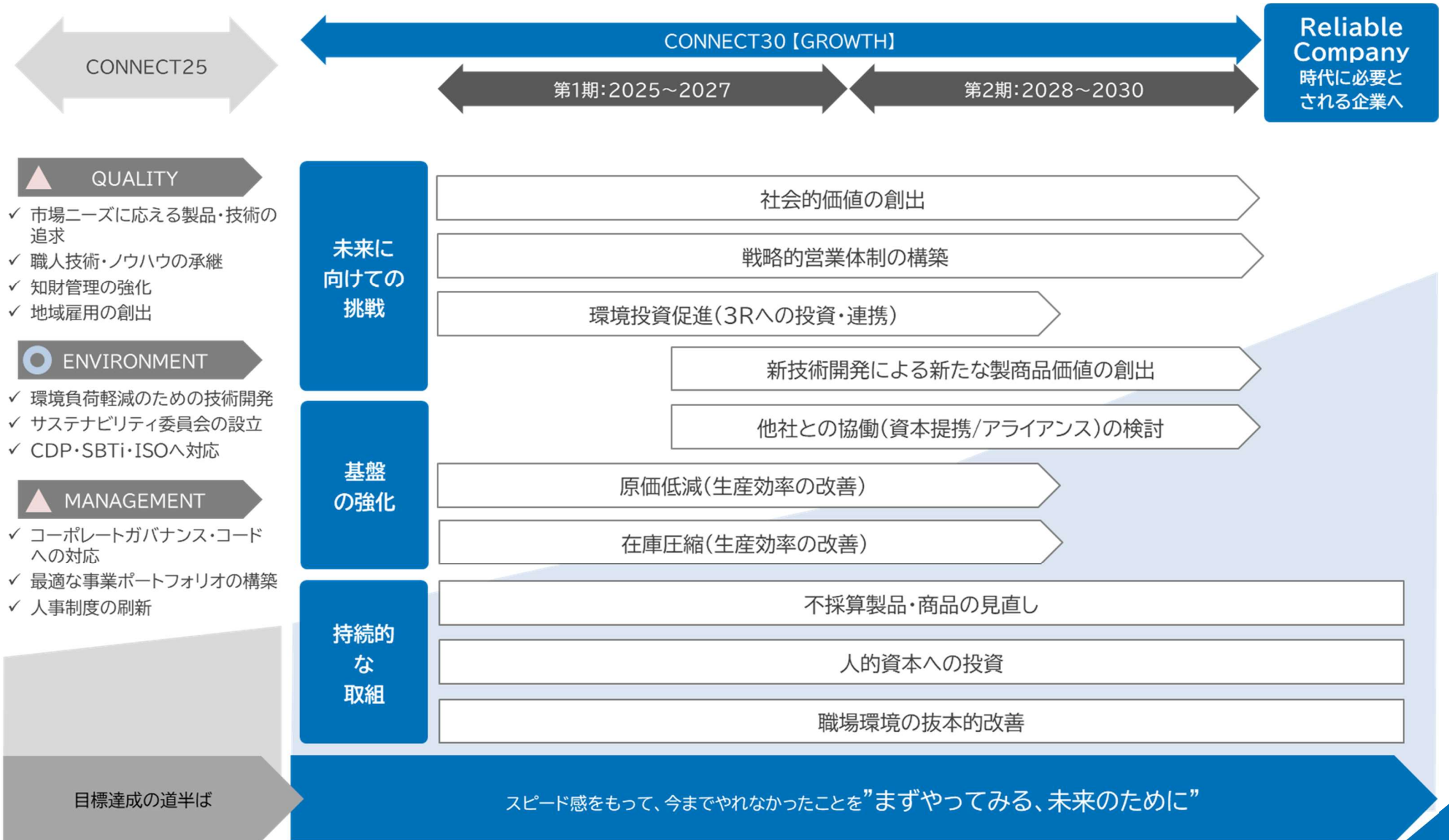
サステイナブル
経営の加速



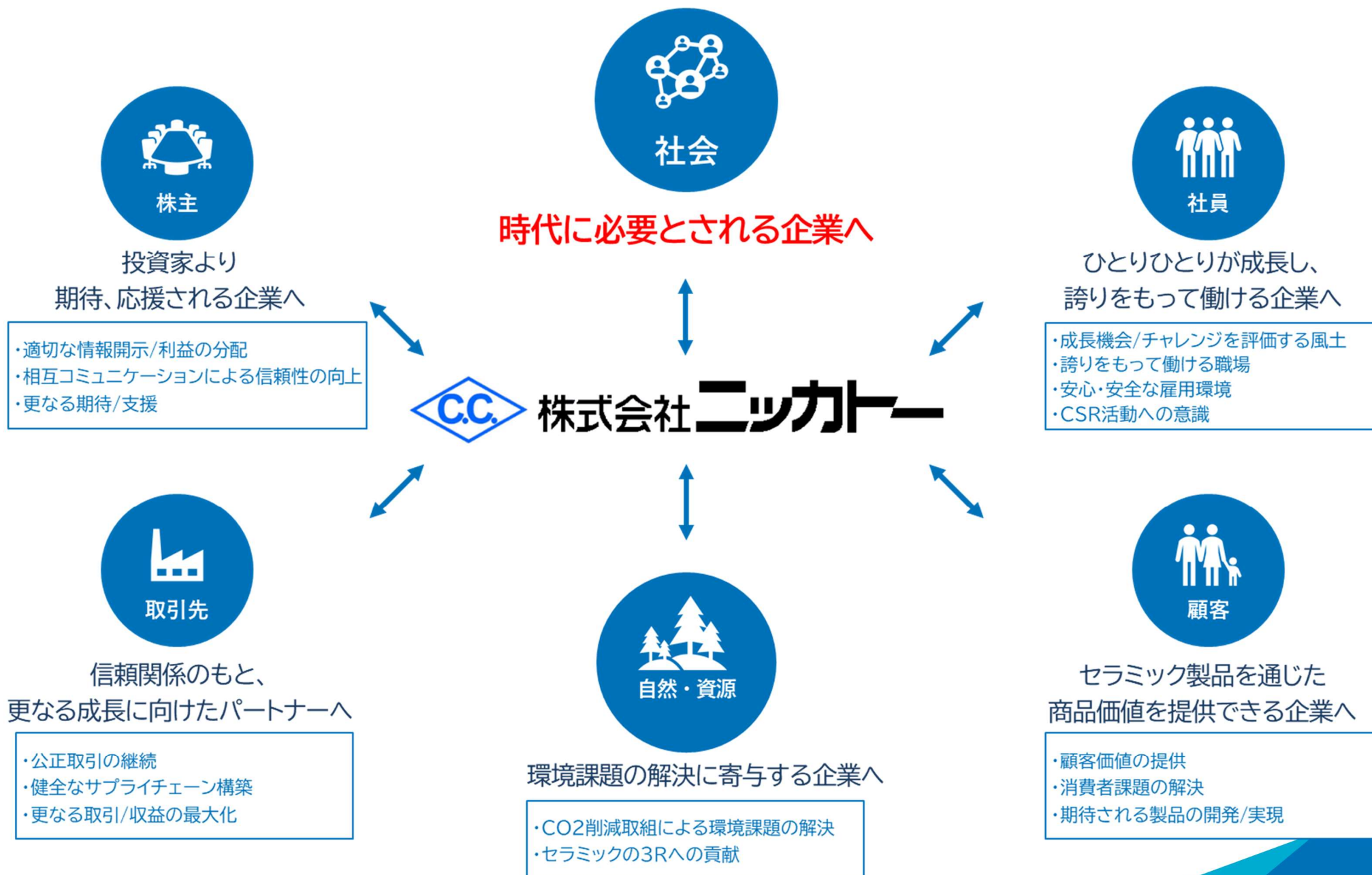
持続的な成長

培い積み上げてきたニッカトーの強みを発揮し、
未来のためにチャレンジし続けることで、持続的な成長につなげる

2030年へのプロセス



時代に必要とされる企業を目指して



1. 中長期的な戦略について
2. 2026年3月期(第3Q)業績概要
3. 2026年3月期業績予想
4. 事業トピックス

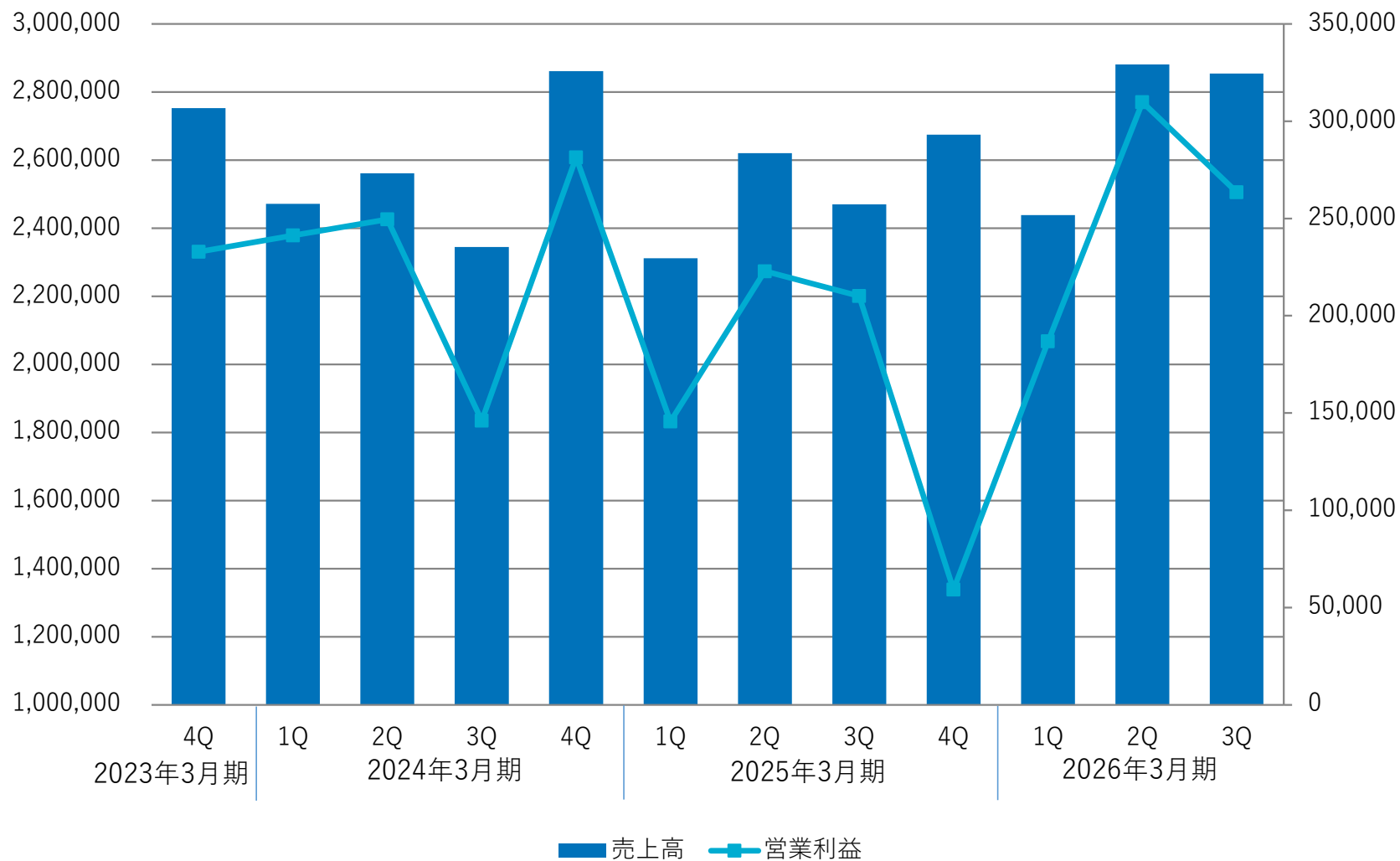
経営成績の概要

(単位:千円)	2025年3月期3Q		2026年3月期3Q		対前年		対通期予算	
	実額	売上比	実額	売上比	増減額	増減率	予算	進捗率
売上高	7,401,525		8,174,212		772,686	10.4%	10,140,000	80.6%
売上原価	5,792,281	78.3%	6,301,598	77.1%	509,316	8.8%	7,734,000	81.5%
販売費及び一般管理費	1,030,603	13.9%	1,112,450	13.6%	81,846	7.9%	1,440,000	77.3%
営業利益	578,640	7.8%	760,163	9.3%	181,523	31.4%	966,000	78.7%
経常利益	643,468	8.7%	816,609	10.0%	173,140	26.9%	1,009,000	80.9%
当期純利益	446,924	6.0%	542,968	6.6%	96,043	21.5%	706,000	76.9%
研究開発費	187,458	2.5%	231,546	2.8%	44,088	23.5%	-	-
EPS(円)	37.42	-	45.43	-	8.01	-	-	-
ROA(%)	3.5	-	4.1	-	0.6	-	-	-
ROE(%)	4.6	-	5.4	-	0.8	-	-	-

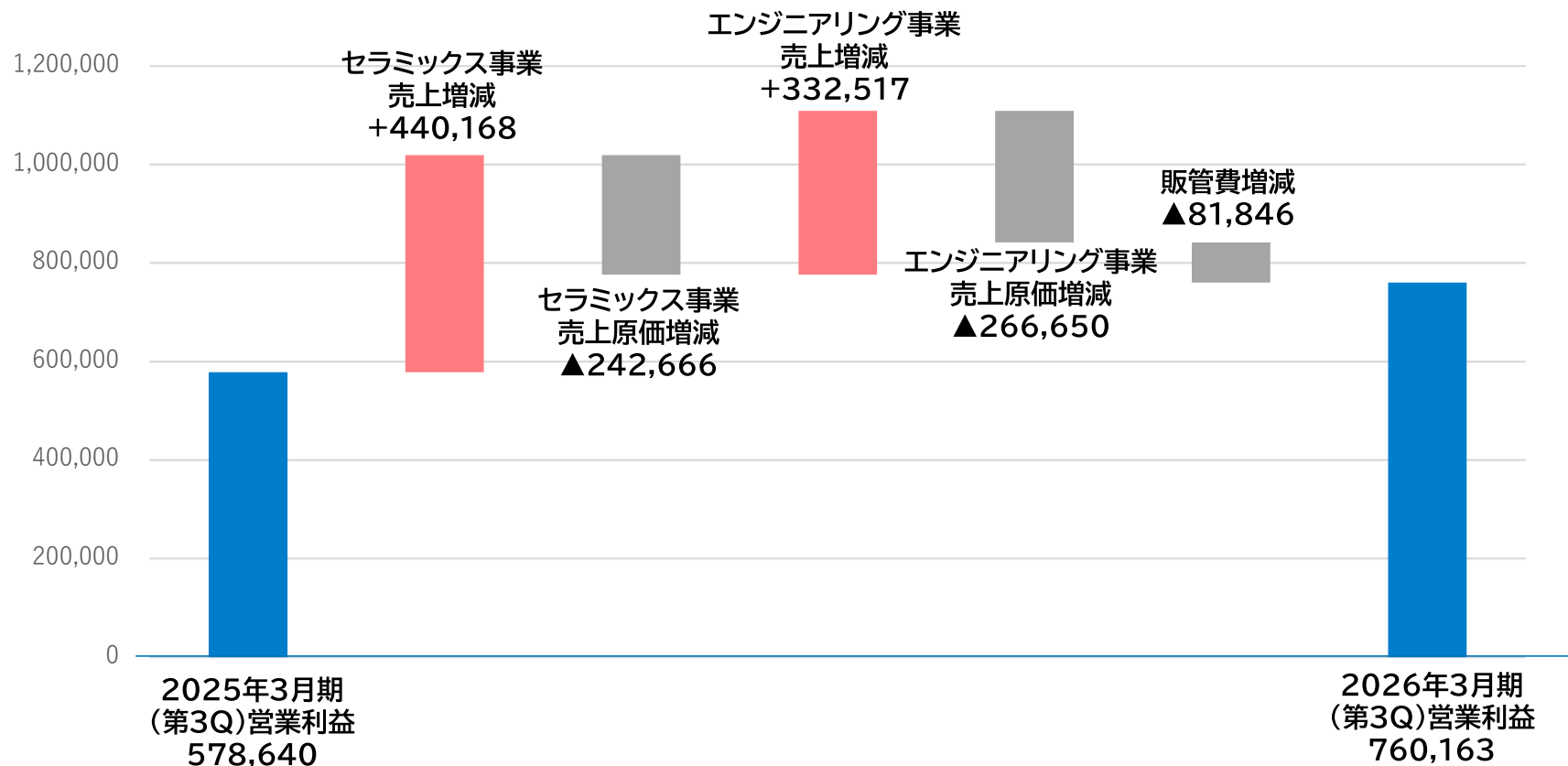
※ROA・ROEの数値は第3四半期の実績数値を通期換算しております。

売上高・営業利益推移(四半期毎)

(単位:千円)



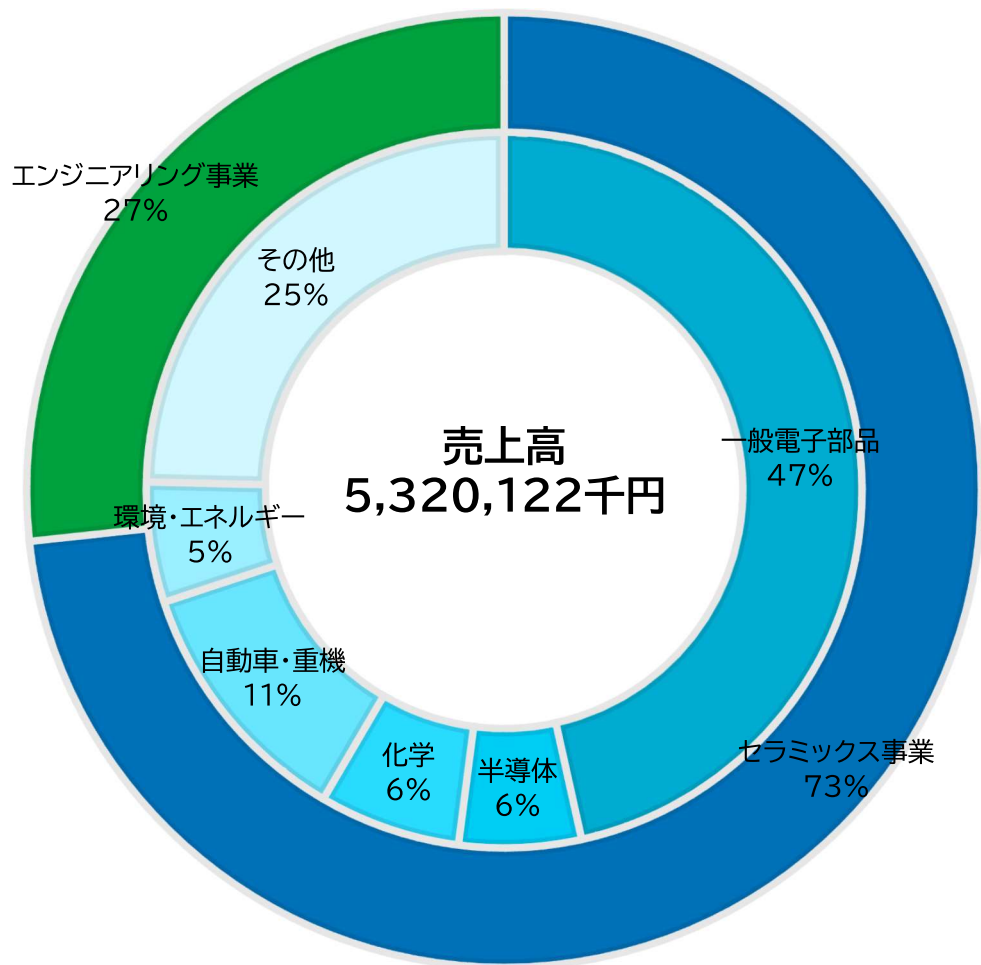
(単位:千円)



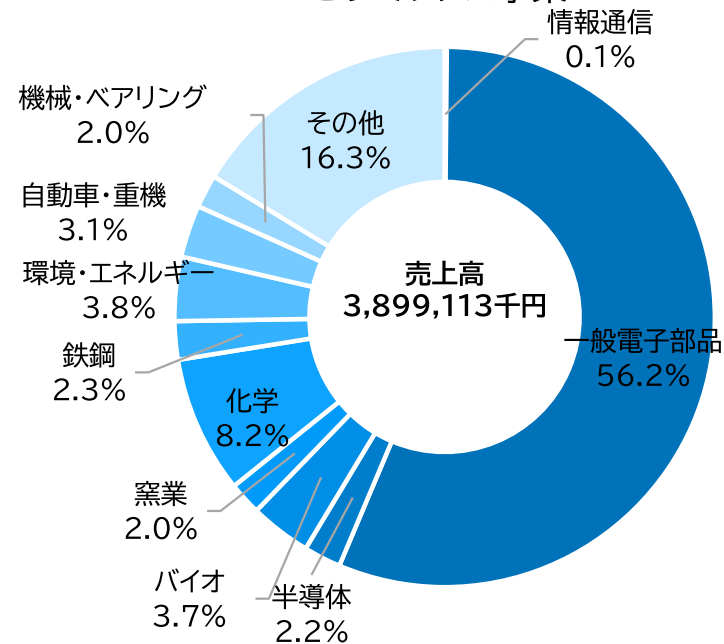
- ✓ セラミックス事業における主力の電子部品業界の受注状況は改善傾向に伴い、当社の工場稼働率も改善。エンジニアリング事業は半導体・電子部品向けを中心に計測機器類が堅調に推移。全社的には31.4 %増益の760,163千円となる。

マーケット別構成比

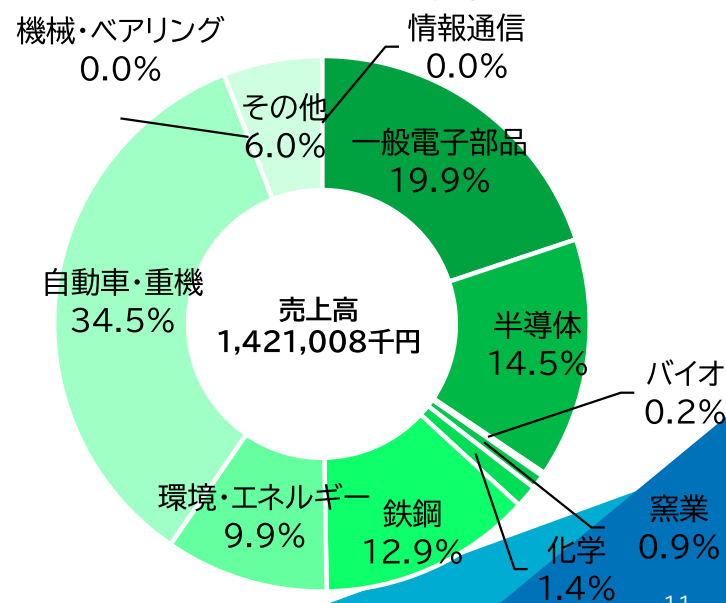
全社



セラミックス事業

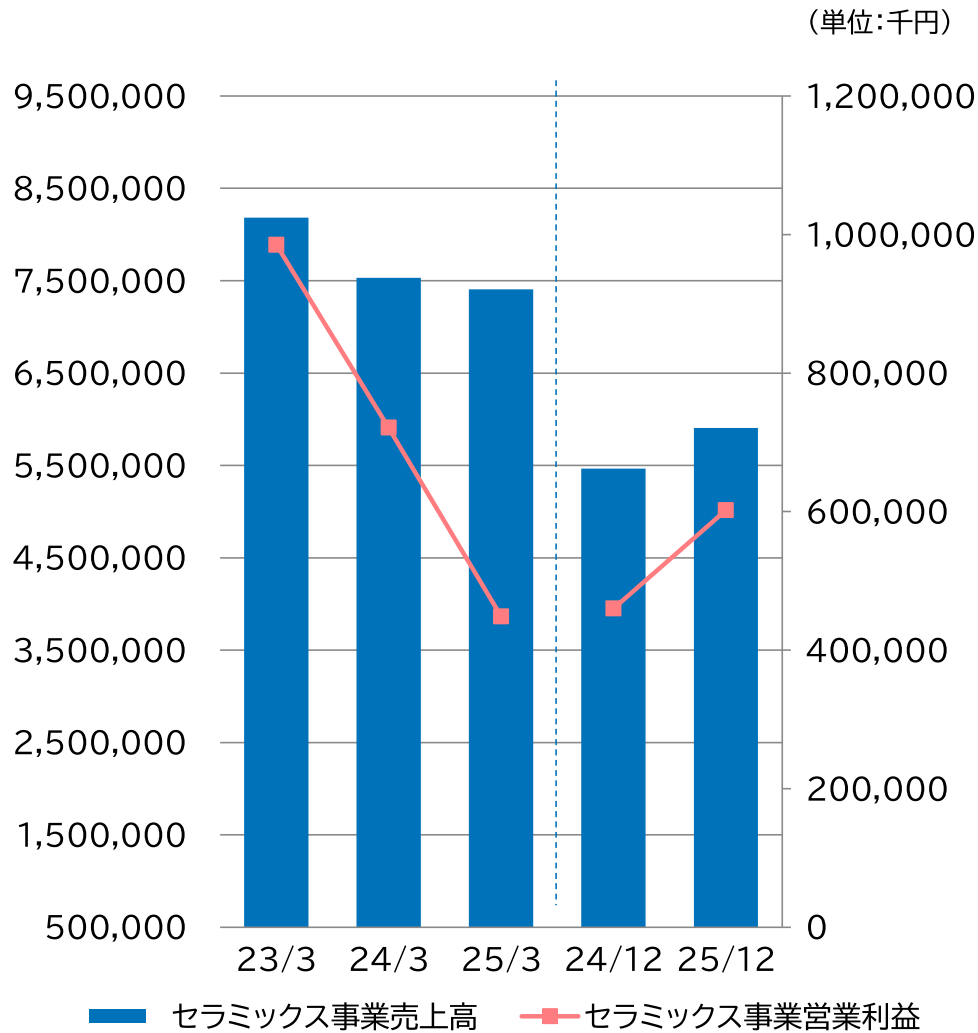


エンジニアリング事業

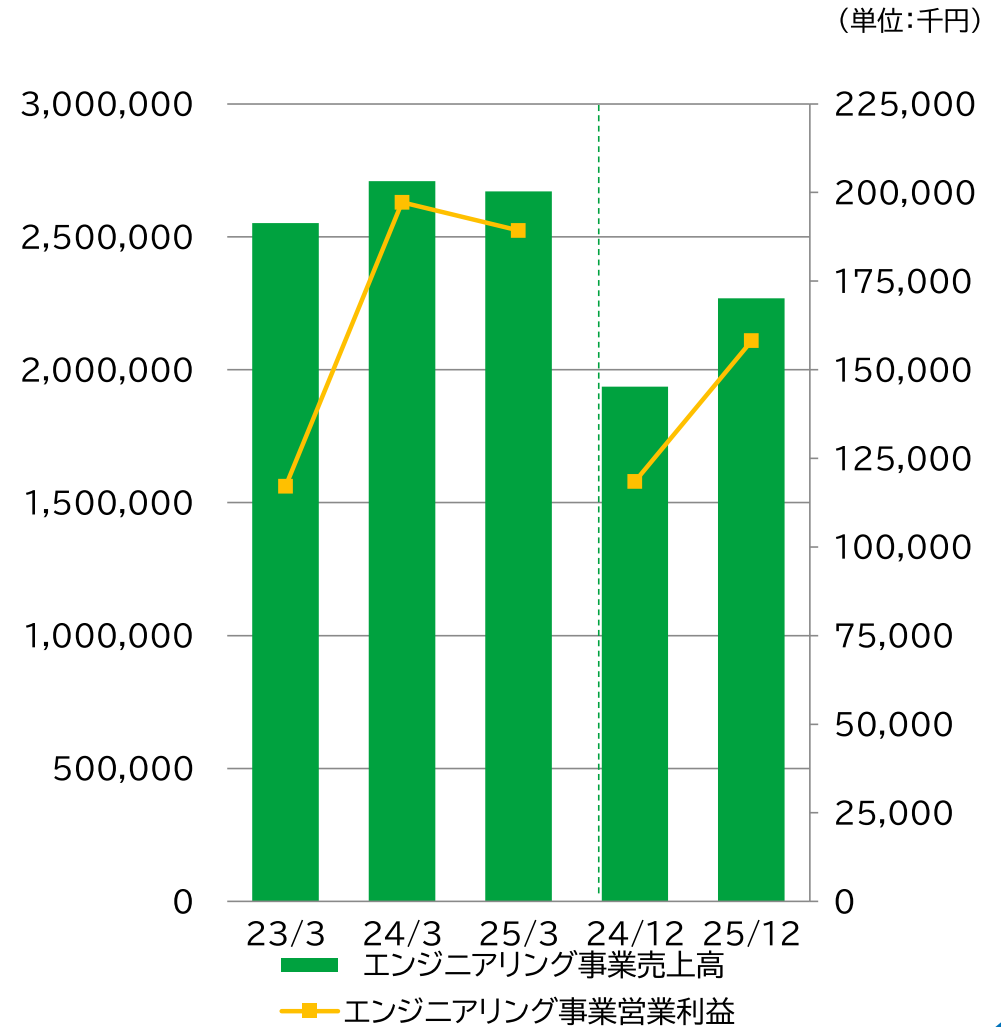


※マーケット別構成比は、2026年3月期(第2Q)のデータを使用しています。

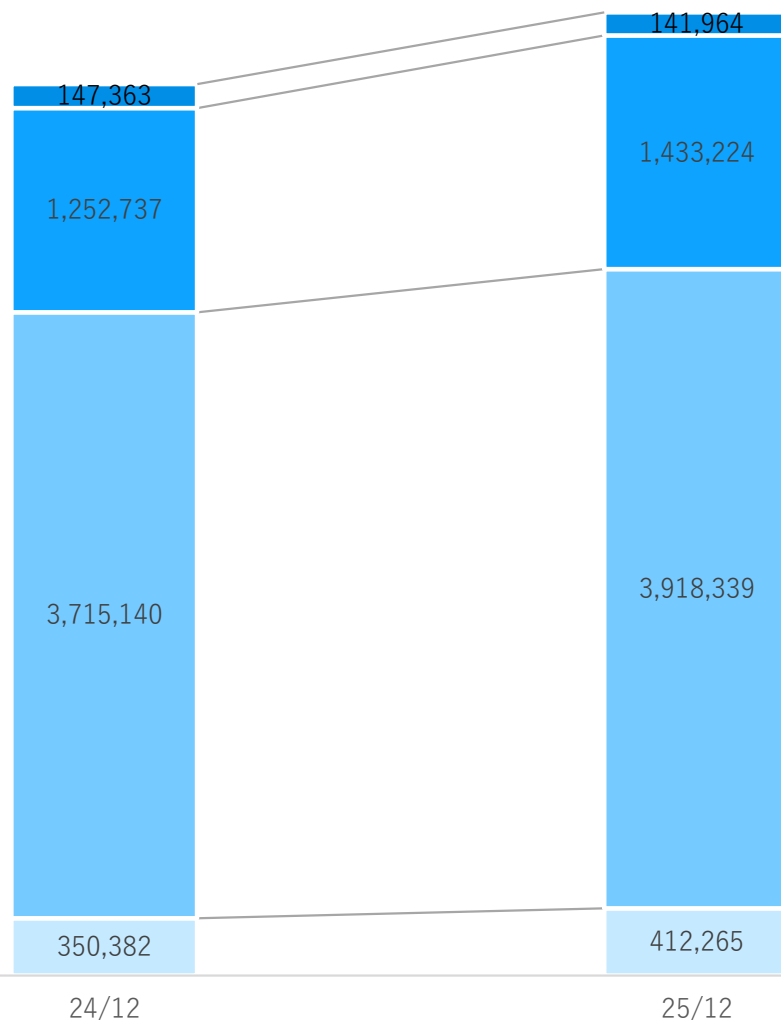
【セラミックス事業】



【エンジニアリング事業】



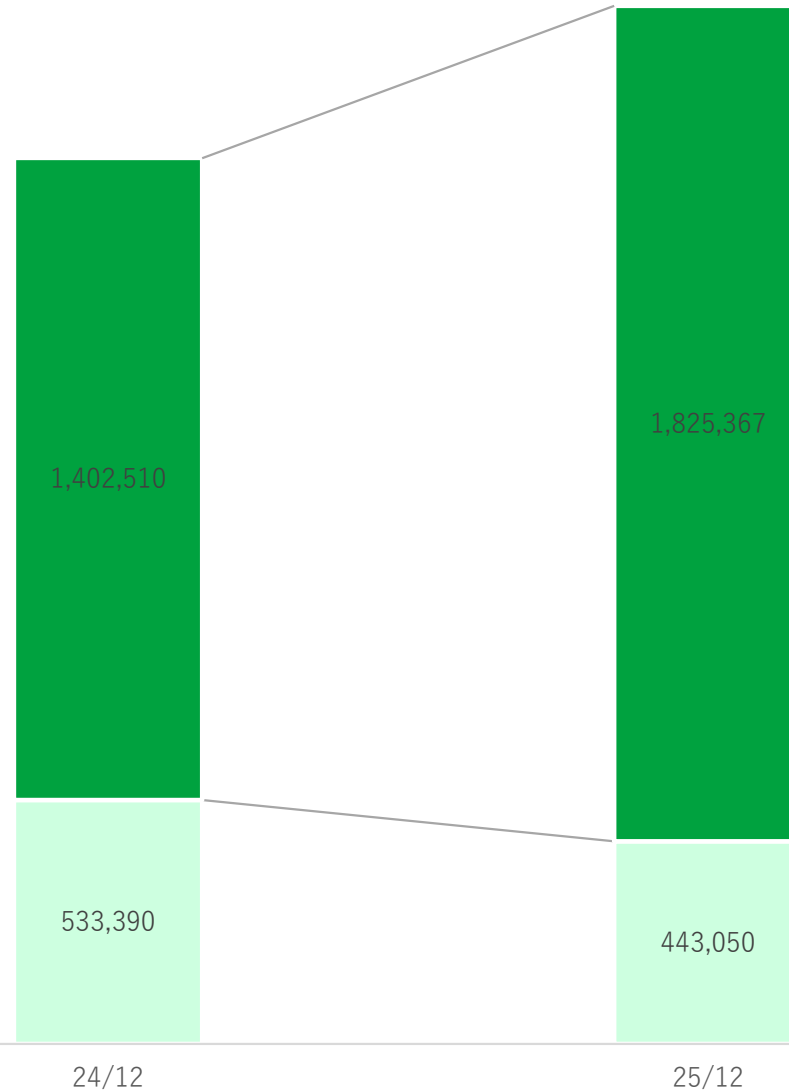
(単位:千円)



■機能性セラミックス ■耐摩耗セラミックス ■耐熱セラミックス ■理化学用陶磁器他

- 企業収益の回復を背景に経済活動の正常化が進む一方、物価上昇の継続による個人消費への影響や米国の通商政策等による景気下振れへの懸念。
- 日中の関係悪化、中国経済の停滞、地政学的リスクの影響等により、依然として先行き不透明な状況が続いており注視する必要あり。
- 主力の電子部品業界の受注は回復傾向にあり、工場稼働率も改善傾向。
- 不採算製品の見直しに着手。

(単位:千円)



■ 加熱装置 ■ 計測機器・同システム

- 自動車・重機関連等を中心に設備投資が堅調に推移した結果、売上高が伸長。
- 粗利益率は一定水準を維持。計測機器の売上伸長により粗利金額も高水準を目指す。

貸借対照表

(単位:千円)	25/3末	25/12末	増減率
流動資産	10,091,569	10,456,308	3.6%
現金預金	3,642,551	3,453,581	△ 5.2%
売掛債権	3,455,096	3,850,314	11.4%
棚卸資産	2,970,242	3,138,975	5.7%
その他	23,678	13,437	△ 40.0%
固定資産	7,033,285	7,751,531	10.2%
有形固定資産	4,854,889	4,776,354	△ 1.6%
無形固定資産	83,055	66,804	△ 19.6%
投資その他	2,095,340	2,908,372	38.8%
資産合計	17,124,855	18,207,840	6.3%

	25/3末	25/12末	増減率
流動負債	3,496,139	3,671,465	5.0%
買掛債務	1,949,691	2,173,015	11.5%
短期借入金	614,392	560,050	△ 8.8%
その他	932,055	938,400	0.7%
固定負債	515,355	658,608	27.8%
長期借入金	106,452	0	△ 100.0%
その他	408,903	658,608	61.1%
純資産	13,113,360	13,877,765	5.8%
株主資本	12,477,613	12,771,821	2.4%
評価・差額等	635,746	1,105,944	74.0%
負債・純資産合計	17,124,855	18,207,840	6.3%

- ・流動資産
 - 売掛債権 増収により増加
 - 棚卸資産 受注増加に伴う在庫増により増加
- ・固定資産
 - 有形固定資産 減価償却により減少
 - 無形固定資産 減価償却により減少
 - 投資その他 投資有価証券の評価増により増加

- ・流動負債
 - 買掛債務 受注増加に伴う仕入増による増加
- ・固定負債
 - 長期借入金 長期借入金の返済により減少
- ・純資産
 - 評価・差額等 投資有価証券評価増により増加

キャッシュフロー計算書

(単位:千円)	24/9末	25/9末	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,092,531	519,784	△ 572,747
税引前当期純利益	406,516	492,814	86,298
減価償却費	311,847	324,239	12,392
棚卸資産の増減額	△ 162,747	△ 106,578	56,169
その他	536,915	△ 190,690	△ 727,605
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 518,218	△ 483,063	35,155
有形固定資産の取得	△ 516,410	△ 325,017	191,394
その他	△ 1,807	△ 158,046	△ 156,239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 264,391	△ 240,398	23,992
配当金の支払額	△ 156,765	△ 132,813	23,953
その他	△ 107,625	△ 107,585	40
現金等の増減額	309,921	△ 203,677	△ 513,599
現金等の期末残高	3,694,526	3,438,874	△ 255,652

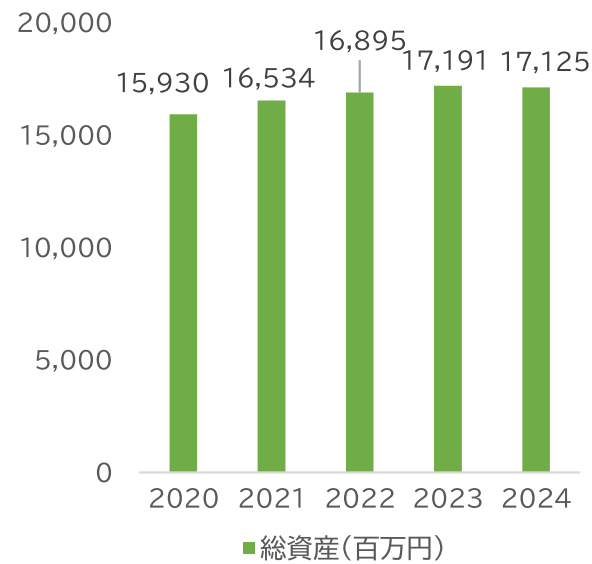
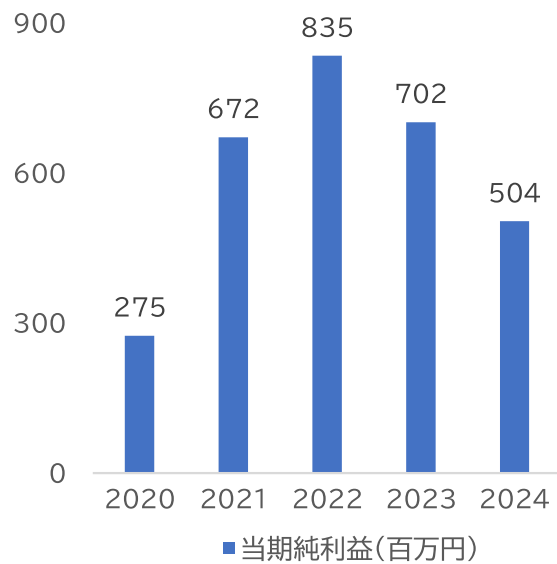
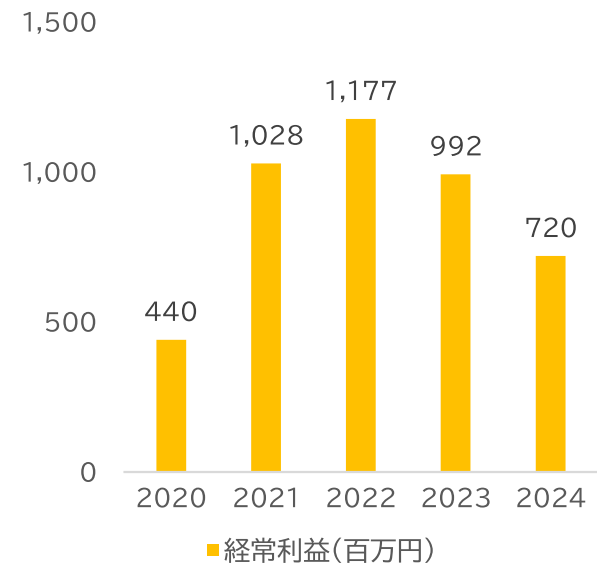
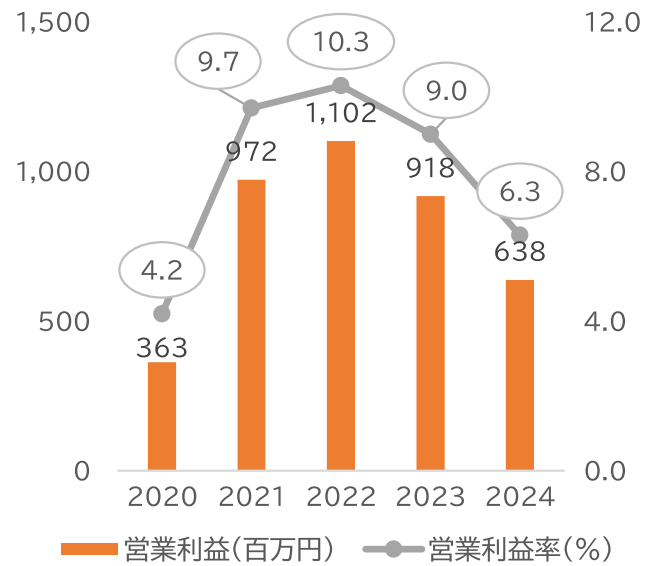
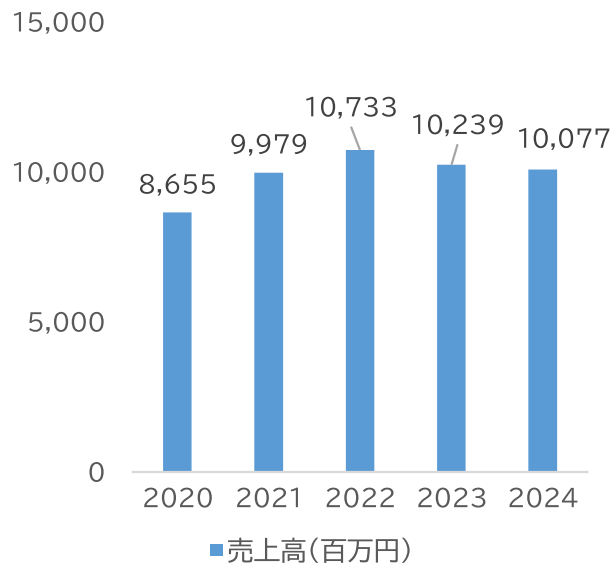
- ・営業CF
 その他
 増収に伴う売上債権の増加に伴う減少
 法人税等支払額の増加に伴う減少
- ・投資CF
 有形固定資産の取得
 主にセラミックス事業生産設備
 の新設および更新
- ・財務CF
 配当金の支払額
 配当金11円

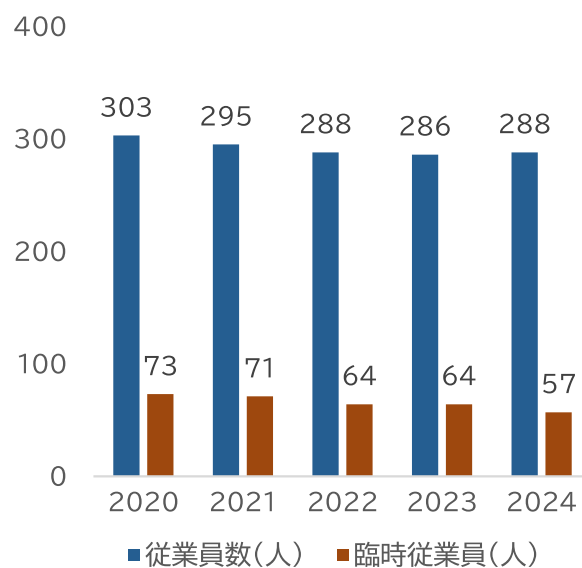
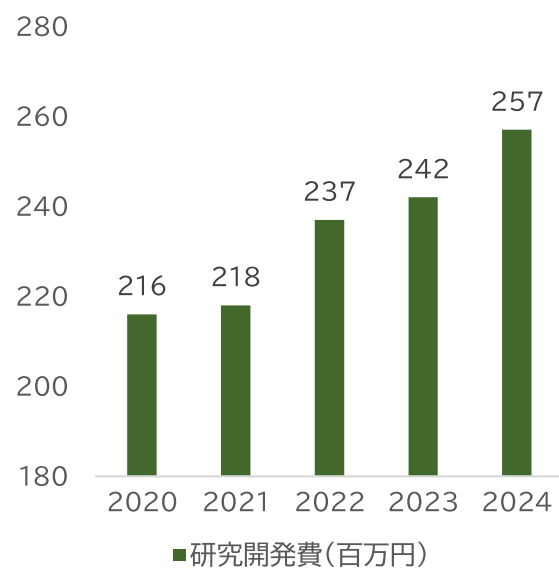
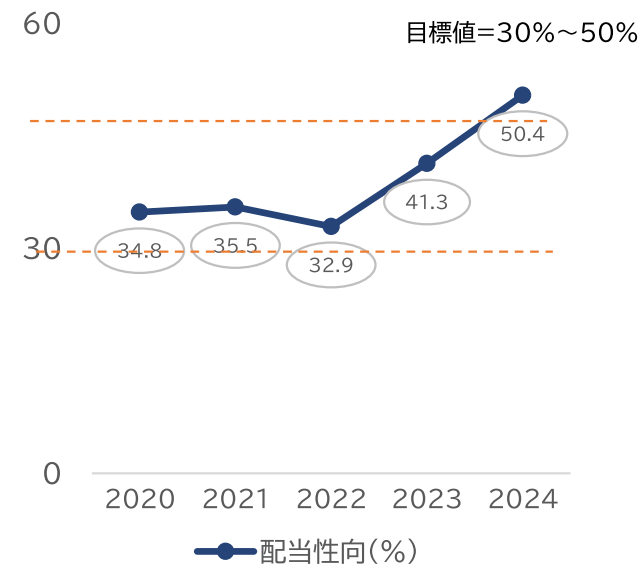
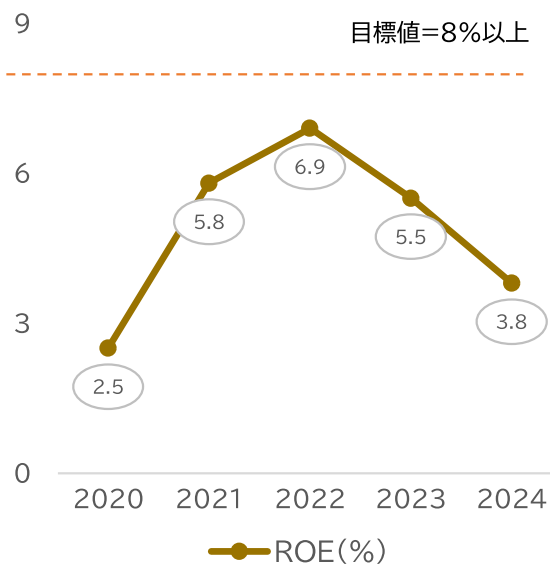
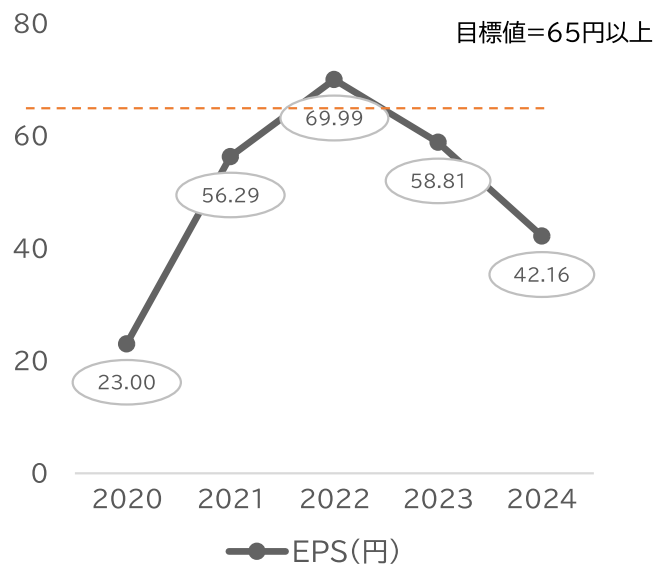
※キャッシュフロー計算書は、2026年3月期(第2Q)のデータを使用しています。

1. 中長期的な戦略について
2. 2026年3月期(第3Q)業績概要
3. 2026年3月期業績予想
4. 事業トピックス

2026年3月期業績予想

(単位:千円)	2026年3月期3Q(予測)		2026年3月期3Q(実績)		対予測比	2026年3月期(予測)		対通期比
	金額	売上比	金額	売上比	達成率	金額	売上比	進捗率
売上高	7,530,000		8,174,212		108.6%	10,140,000		80.6%
売上原価	5,742,000	76.3%	6,301,598	77.1%	109.7%	7,734,000	76.3%	81.5%
販売費及び一般管理費	1,077,500	14.3%	1,112,450	13.6%	103.2%	1,440,000	14.2%	77.3%
営業利益	710,500	9.4%	760,163	9.3%	107.0%	966,000	9.5%	78.7%
経常利益	742,000	9.9%	816,609	10.0%	110.1%	1,009,000	10.0%	80.9%
当期純利益	519,500	6.9%	542,968	6.6%	104.5%	706,000	7.0%	76.9%





1. 中長期的な戦略について
2. 2026年3月期(第3Q)業績概要
3. 2026年3月期業績予想
4. 事業トピックス



※トラスコ中山株式会社の許諾を得て使用しております。
無断転載・加工はご遠慮ください。

このたび、テレビ東京系列『知られざるガリバー ~エクセレントカンパニーファイル』にて、
2025年12月27日(土)に当社が紹介されました。

今回の放送では、弊社代表取締役社長・大西宏司のインタビューをはじめ、弊社の製品がどのよう
に作られ、日本のものづくりを支え続けているかなどが放映されました。

撮影の様子



HPアドレス：
<https://www.nikkato.co.jp/>



こちらからもどうぞ

(注)本資料に記載いたしております業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分にリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。